



サステナビリティ経営を推進し

「脱炭素社会」と「安心・安全な社会」の実現に貢献します

株式会社チノー

藤岡市

代表者：豊田三喜男
設立年月日：1936年8月1日
資本金：42億9,200万円
従業員数：689人

住所：藤岡市森1
TEL：0274-42-2111
URL：https://www.chino.co.jp



WEBサイト

● 事業者紹介

1936年の設立以来、「温度のチノー」として高い技術力を誇り、計測・制御・監視の技術により、様々な産業分野（電子産業、先端素材、農業、食品、医薬等）において、品質向上、生産の効率化、安全・安心、地球温暖化防止等の最適なソリューションを提供し、持続可能な社会の実現に貢献しています。



● 経緯・背景

SDGsが掲げる持続可能な未来に向けた課題解決に、当社の計測技術が貢献できると考えています。脱炭素社会の実現には、太陽光等の自然エネルギーと共に、水素エネルギーの活用が期待されています。水素社会実現のためのインフラ整備は、世界的にも急務の課題であり、水素を「作る・運ぶ・貯める・使う」というサプライチェーンの中で、様々な研究開発が進んでいます。当社の精度の高い計測技術がその事業化を支援します。

また、正確性とトレーサビリティが求められる医薬品の管理においては、温度計測・監視を通じて、安全・安心な医薬品の提供に貢献していきます。

● 具体的な取組や成果

脱炭素社会の実現に向けて、水素関連技術の研究開発を支援 医療・医薬分野では厳格な温度・湿度管理を実現します

● 脱炭素社会の実現に向けて

水素関連技術の研究開発を支援する「燃料電池評価装置」「水電解評価装置」で水素利用技術と水素製造技術の発展を計測や制御技術の面で支え、燃料電池基盤技術の研究を進める技術研究組合 FC-Cubic にも参加しています。「燃料電池評価装置」は燃料電池車やエネファームの研究開発を支え、早期商品化と性能向上に寄与し、燃料電池の普及に繋がっています。「水電解評価装置」はグリーンエネルギー政策下で研究が進む水素製造手法のうち、水の電気分解を応用した手法の水素製造効率の適正評価に寄与しています。また地球温暖化の一因である、フロン温室効果を低減する代替冷媒を用いたエアコンの性能評価を行う「カロリ-

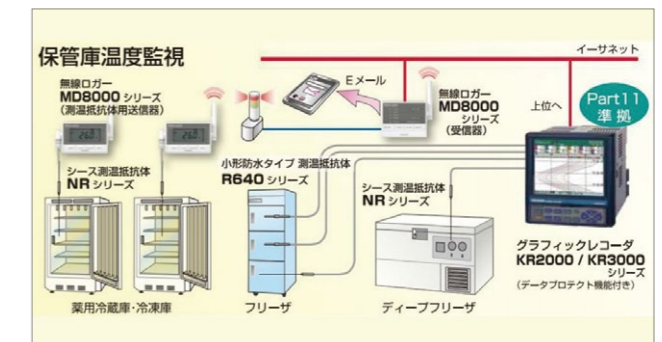
メータ（冷凍評価装置）」に改良を重ね、冷凍空調産業の開発を支援しています。地球温暖化係数の低減と効率向上によるさらなる省エネに向けて、代替冷媒の開発は継続されており、「カロリメータ」はエアコンをはじめとする空調機器の性能評価に欠かせない設備となっています。

● 安全安心な医薬品の提供に貢献

医療・医薬分野における温度・湿度管理面において、当社のセンシング技術と無線技術を活用した集中監視システムと温度管理サービスを提供。医薬品保管、医薬品物流および医療用検体保管において、厳格な温度・湿度管理を実現でき、医療・医薬分野での安全と安心の向上に寄与しています。



水電解評価装置で水素社会の実現へ貢献



卓越した温度管理技術で、医薬品の安全・安心を支えています

当社にとっての SDGs ビジョン

技術の限界に挑戦することで サステナビリティ経営を深化

SDGsへの貢献を、具体的な ESG 課題への対応を通じて推進していきます。SDGsの17目標は、いずれも当社の事業と繋がりがあると認識のもと、事業を通じてSDGsに貢献することが、サステナビリティ経営を深化させることにほかならないと考え、「計測・制御・監視」技術の限界に挑戦します。

今後の展望と求めるパートナー像

技術力で新たな価値を届け 企業も成長する好循環を

チノーグループのモットーである「現場に密着した」事業を通じて、お客様に「新たな価値」を届けます。あらゆるステークホルダーの人々によるこんでもらえるよう、SDGsの目標達成に貢献し、その結果として当社も持続可能な成長を遂げていく。そういう好循環を生み出せる企業グループであり続けたいです。